

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和8年6月30日

事業所名 放課後等デイサービスHARU豊中

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		デイルームとLANDと2部屋あり、適切に確保出来ています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		予定表の人数に応じて配置人数の調整を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		スロープ設置等、バリアフリー化を図ると共に一日の流れをプレートカードでわかりやすく掲示する等の配慮をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		毎日清掃や消毒を行っています。勉強中はデイルーム、終わったらLAND等空間を分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		相談室を使ったり、マットで空間を分ける等により個別で使える空間を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13		毎月のミーティングや、業務日誌を通してPDCAサイクルに全職員が参画しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		毎年6月に配布し、意向の把握、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		日々の振り返り時やミーティング時に行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	9	第三者委員を設けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		雇われ時に研修を必ず行っております。月のミーティングの都度行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		発育年齢に応じたプログラムを作成し、長期休みはスケジュールを配布して公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		適切と認識しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		随時必要事項を情報共有し、支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		毎月MT後に作成するモニタリングを踏まえて支援計画を作成し、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		フォーマル/インフォーマルなアセスメントを使用して確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		ガイドラインを踏まえ、項目の設定を支援計画に反映させ、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		ミーティングで話し合っており決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		固定化しないように工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13		各児童に合わせて個別/集団でのテーマを考えて支援計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		支援開始前にその日の役割分担など情報を共有しています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		申し送り書を作成し、共有を図っています。	退勤時間が異なるため、支援終了後の全員での振り返りは行えていません。翌日支援開始前や、必要に応じて都度、電話連絡等、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		複写式の連絡帳を使っており、適切と認識しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		適切と認識しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	13		適切と認識しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		適切と認識しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		基本的に児発管が参加しますが、状況によっては指導員も参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	5	必要に応じて共同でのカンファレンスを行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		送迎時に都度、対面での情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	8	今年度は情報共有の機会はありませんでした。	必要に応じて情報共有できる態勢を整えております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	1	必要に応じて行っております。	申し出があれば、随時情報共有可能です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13		必要に応じて連携を図っています。	連携を図っていることを周知する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	9	公園等、地域のこども達と触れ合う機会がありますが、昨年度はイベントとしての参加はありませんでした。	交流の機会があれば参加を検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13		児童発達支援管理責任者を中心に事業所連絡会に積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		連絡帳と送迎時に保護者様と1:1セッションを取っています。	ご希望があれば相談や懇談を行っております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13		家庭内の状況の聞き取りや相談へのアドバイス等、個別に対応しております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		契約時に説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		アセスメントにて保護者、子ども本人の意向を確認し、作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		半年に一度支援計画を作成し、お渡しする時は送迎時または電話にて説明をし、支援計画への署名で同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		年に一度、面談を行っております。相談を受けた時には助言やサポートを行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	9	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		マニュアルを作成し、適切に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		HPのブログを定期的に更新しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		適切と認識しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		わかりやすい、伝わりやすい言葉で伝えるように心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		夏祭りやハロウィンでは近隣の高齢者施設にご協力いただいております。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		適切と認識しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		ミーティングで災害を想定した話し合いやBCPの情報共有をし、年2回の避難訓練も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		契約時/服薬変更時等都度確認しており、緊急時個別対応シートを作成して緊急対応の情報を共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		保護者様から教えていただき、適切に対処しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		年間スケジュールを決めて実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		避難訓練等の様子をブログにて配信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		適切と認識しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		研修を毎年行っており、適切と認識しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13		身体拘束を行っていません。	